

知りたいこと

望むこと



御手洗 寿乃 議員

問 TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）への参加問題が国会上の焦点になっています。農地法も改正された農家に多大な影響をおよぼすものと思われます。須恵町でも農家の高齢化・後継者難に苦しみ、廃業を余儀なくされた酪農家、30年前から農作業を請負って規模拡大を図ってこられた方も採算が合わないと思われ廃業を考慮されています。集合住宅の建設も目立ちます。このような現状に対して、町の方策は。



JA粕屋本所

農業の現状と対策は 政策を見極めながら

答 中嶋町長 農業の問題は、農業の問題として国がしっかり行い、TPPの問題を考えなければならぬと思います。それを国が何も考えずに、TPPのことを言うから問題があるわけです。須恵町の農業の方は、先祖の土地を守っていただき、自然災害から守る等、大きな意味での農業をしていただいています。しかし、農業としての経営が成り立つかどうかという、非常に厳しい現状です。政策を見極めながら、また糟屋郡でもJA粕屋及び近隣の1市7町で、水田農業推進対策協議会をつくっていますので、そこで情報交換を行いながら今後の施策も考えていきたいと思っています。



今村 桂子 議員

問 須恵町の保育園待機児童は現在49名と増加傾向にあります。特に0歳児28名、1歳児10名、2歳児10名と低年齢児の待機が目立ちます。待機児童をなくすための対策は。特に今、議会に土地購入議案がでている第二幼児園の待機児童対策は。

答 中嶋町長 東幼稚園とかやの保育所を幼保一元化する第二幼児園を計画していますが、民間に委託をさせますので、待機児童解消につながるような方策を取りたいと思います。しかし、0歳児、1歳児の待機児童なしということは厳しい状況です。4、5歳児については100%可能にしていきたいと考えています。



幼保一元化が計画されている「かやの保育所」